

しゆめ

東雲会会報 第21号

松江東高等学校東雲会事務局
2023年3月6日付発行

題字 19期卒業生 加藤 愛



実現したい世界や笑顔にしたい人のために、松江市内の高校生が自ら事業・ビジネスを企画・実践するプログラム「キラボシプロジェクト」。今年、松江東高校からは、合計10組の生徒達が参加しました。



目次

東高ニュース	2
校長挨拶	3
生徒会長挨拶	3
部活動特集	4

現在の取り組み	6
新会長挨拶	8
新役員挨拶	8
総会・懇親会案内	8



新型コロナウイルス感染症対応のため、見送られ続けていた「2年生東京研修旅行」を、マスク着用・朝夕の体調確認・黙食などの感染症対策を十分に行い、3年ぶりに実施しました。1日目は「大学訪問」、2日目は「博物館や未来館の見学」「企業訪問」、3日目は「観光地訪問」を、夜間には「日々の研修を伝え合うワークショップ」を行いました。

「大学訪問」では、大学の説明を聴くだけでなく英会話に挑戦するなど体験的な学びもありました。「博物館や未来館の見学」で科学的な知見を得るとともに、展示や伝え方の工夫を、「企業訪問」では企業における社会貢献のあり方などを学びました。「観光地訪問」では、人が集まる所での様々な工夫を実感することができました。さらに、「日々の研修を伝え合うワークショップ」を通して、各自の知見を伝え合うことを通し、生き方の視野を広げていきました。

1日目



大学訪問

2日目



未来館

3日目



雷門



夜間ワークショップ



企業（川崎重工業）



スカイツリー

生徒たちは、島根ではなく東京だからこそ、感じ取れることを目の当たりにでき、人生をデザインしていく大きなヒントを得る貴重な機会として研修旅行を終えることができました。また、生徒一人一人が責任感をもち行動することができていたため、帰校後も体調を崩す者がいなく、充実した研修旅行となりました。



校長

田中 正樹

ご挨拶

本校2年目になりました校長の田中です。東雲会の皆様には、日頃より本校教育活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。コロナ禍も3年目になりますが、第8波到来が言われるなど未だに収束が見通せない状況です。本校でも4月中旬～5月初旬にかけて、部活動を中心に新型コロナウイルスの感染が拡がり、その後続く県総体も無事開催できるか非常に心配していましたが、最終的には一人も新規感染者を出すことなく県総体の全日程が無事終了しました。しかも、県内で25校あるAグループの高校の中で第5位という好成績でした。このときは、本当に東高生の底力を感じた次第です。

その後、東雲祭、2年生の東京研修、部活動新人戦、選手権と多くの行事が感染症対策を徹底し、やり方を工夫しながらではありますが、無事に進みつつあります。3年ぶりに実施した2年生の東京研修では80数年ぶりの低温という悪天候に見舞われましたが、生徒達にとってかけがえのない時間を過ごすことができました。

さて、本校は、昨年度まで続いた文部科学省の指定事業の後、今年度から、県のSTEAM教育特化型プロジェクトの指定や三菱みらい育成財団の助成を受けることになり、高大連携や地域連携など、生徒の可能性を拡げるための取組を更に進めています。今年度からは、3年生の学校設定科目の授業に定期的に大学生が伴走してくれるような取組も導入しました。

今後も、皆様方の力をお借りして、新しい形の連携事業を進めて参りたく思っていますので、引き続きご支援・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



38期

バラック シエイ

前期生徒会長挨拶

私たち38期生は高校入学とともにコロナによって様々な影響を受けたジェネレーションです。あたり前にできていた行事や活動が制限され、新しいあたり前に上手くアダプトしていく必要があり、とても大変でした。

この苦しい状況の中、私たちは今だからこそできることを探し、withコロナを意識した行事の実行、探究活動を行ってきました。私はこれらの活動を通してコロナ以前より地域の人々と関わる機会が増え、様々な視点から島根の魅力を見つけることができました。そして今まで以上に島根が大好きになり、東高出身であることに誇りを持っています。

東高での活動を通して「ご縁」という人とのつながりがどれだけ大切で素晴らしいものか実感することができました。これからはこの「ご縁」の豊かな島根、そして東高の魅力に私自身がなれるよう日々精進していきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。



38期

井原 郷志

後期生徒会長挨拶

東高での3年間を振り返ってみると、入学前の自分が想像していたものとは違いましたが、楽しい毎日だったように思います。

東雲祭や遠足といった大きな行事は皆で盛り上がり、マスク2枚の隔たりを感じさせない楽しく、すばらしい時間を過ごすことができました。

コロナに振り回された3年間で大変なことがたくさんありましたが、勉強になったこともあります。それは「今置かれている状況でベストを尽くす」ということです。

部活の時間も少なくなり、応援合戦でも声出しは禁止。こんな苦しい状況となっても、皆で協力して楽しんだ経験はこの先の人生への大きな財産となったと思います。

楽しい時も、苦しい時も共に歩んできた38期生のみんな、そして私たちを支えてくれた先生方、1、2年生にとっても感謝しています。

これからはこの東高を次の世代へとつなぐお手伝いができればいいなと思います。これからもよろしく願いいたします。

女子テニス部 主将 岩田 京華

高2の夏に先輩が引退され、私たちの代になり、部が上手くまとまるか不安でした。テニスは相手がいて成り立つスポーツなので部員の強さがバラバラでも全員が納得できる練習メニューにするにはどうすればいいか悩みました。そして人数の少ないテニス部でさえ、まとめることの難しさを知りました。しかし、一緒に考えて意見を否定することなく聞いてくれる仲間、頼りにしてくれる仲間がいたので最後まで部活を全うすることができました。

壮行式や結果報告のときに、テンプレのように「仲間と協力して」や「支えてくださる人に感謝して」などと言っていたけれど、それが何より大事なことだと3年になってようやく気づきました。

インターハイ出場のような大きな結果を残すことはできませんでしたが、部活を通して仲間の大切さをより感じました。



男子テニス部 主将 來海 智哉

僕たちの部活は上下の1学年がおらず、部員が自分たち7人のみという少し変わったものでした。何をしたら良いのか分からないという不安もありましたが、自由度も高く、より仲を深めることができました。また、1年生から3年生までずっと主将をするという貴重な体験をすることもできました。

僕は部活動を通じて、仲間という存在の偉大さを痛感しました。思うように大会で結果が残せない時、練習が辛い時など、1人では挫折してしまいそうな時も、励まし合い、お互いを高め合うことで乗り越

えていくことができました。

部活に入っている時は日常となっていて実感があまりなかったですが、部活を引退した今、仲間の大切さをより実感しています。

剣道部 主将 津森 研吾

今年度はコロナ禍の影響がある中でも様々な場所へ遠征に行ったり、大会に出場したりすることができました。日々の稽古や県内外での練習試合などを通じてチームの結束力を高めることができました。そのかいあって様々な大会で男女共に入賞することができました。その中でも県総体では男子団体3位、女子団体2位という結果を残すことができ、個人では錦織和奏さんが優勝し、全国大会に出場してくれました。

ここまで頑張ってきたのは、共に辛いことも楽しいことも一緒に乗り越えてきた仲間達や指導して下さった先生方、応援して下さった保護者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

主将となって、仲間と目標に向かって頑張ることの楽しさを実感することができました。



活動特集

茶道部 部長 中西 凜

今年もコロナウイルスの影響で、例年行っていたような活動ができない日々が続きました。そんな日々の中でも部員全員で自分達が今できることを実行してきました。

このような一年の中で特に印象に残っているのは東雲祭で開催したお茶会です。新しく入ってくれた一年生と、二年生が中心となって初めての大きなイベントでしたが、一人一人が自分の役割をしっかりと把握しハプニングもなく、沢山の方にお抹茶や和菓子などを楽しんでいただくことができました。

来年度も飲食を伴う部活ということもあり、沢山活動に制限がかかってしまうこともあると思います。そのような時でもお茶を楽しむ心と礼儀だけは忘れず部活を頑張りたいと思っています。

三年間の茶道部での経験は、高校人生の中で欠かせない宝物となりました。



JRC部 部長 平野 珠羽



コロナウイルスの影響で、ボランティアや幼稚園訪問など、人と関わる活動が制限されてしまうことが多かったです。しかし、そんなときでも自分たちにできることを探し、協力して活動することができました。

地域の方と関わる活動をしたと考え、川津小学校の子どもたちと一緒に工作をするなどといった新しい活動を行いました。その中で、子どもたちや地域の方々に「ありがとう」や「楽しかった」などと言ってもらうことができ、新しい活動をやって良かったなと思いました。また、地域の方々と関わる中で、知らないことを

知るという機会がたくさんあり、改めて地域の方々と関わる大切さに気がつくことができました。

これらの経験から学んだことを生かして、新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っています。

弦楽部 部長 秦 陸斗

私達弦楽部は9月まで3年生3人、2年生2人、1年生8人の計13人で活動していましたが、3年生の先輩が引退したことによって1、2年生の10人で活動しています。今年は4月に新入生歓迎コンサート、5月には松江東高校吹奏楽部の定期演奏会、9月は東雲祭、10月には城東まつりという地域のイベントでも演奏しました。また、1月に島根県の5校で演奏するしまねシンフォネット高校オーケストラにむけた他校との合同練習も行ってきました。コロナによる問題は少なくなっているとはいえ、演奏会や練習に支障をきたすこともあります。ですが、これからも様々な場での発表があります。ぜひこれからの弦楽部の活動も応援していただけると幸いです。



現在の取り組み

1

東高カフェ

東高カフェとは、『大人との交流を通して自身の価値観や視野を広げ、今後の人生設計などの参考にするという“自分探し”の機会』という目的で、令和2年度から始まった取り組みです。この取り組みでは、東高生が大学生や大人の方と楽しく時には熱く語り合うことで、人生設計に向けての糧になっています。これまでに行われた取り組みをいくつか紹介します。

令和3年度

2022年3月24日に「キッチンスタジオ ナド」で開催しました。今回は、2年生の5名と大学生が11月に「東高カフェをどのような場にするのか。どのようなことを大人から聞きたいのか。」を話し合い、企画の立案、準備を行ってきました。

当日は、2年生8名が参加し、会社経営者や大学生など4名の大人と楽しく語り合い、有意義な時間を過ごすことができました。

渡部さん（イブシロンソフトウェア代表取締役社長）

◇「夢の実現方法は？（高校生の質問）」

10年後、15年後にこうしたいという夢をもつ。それを実現するために何をすべきかと、現在に戻していく。その道筋が失敗したときの逃げ道も考えておく。



榎本さん（東京から島根中央高校へ、そして島大へ）

◇「東京の人から見た島根の良さは？（高校生の質問）」

生活しやすい。大人と話しやすい（社長とも簡単に話せる。）だから、社会と繋がりがやすい。



令和4年度

2022年12月7日に松江東高校で実施しました。「Youは何しに県外へ？～都市部へ進学した卒業生と語ろう～」というテーマで、東京に進学した松江出身の学生さんとオンラインをつなぎ、都会と島根の生活の違いや、大学生活のことなどを話し合いました。

参加した生徒は、「本やネットには載っていない大学生のリアルな声を聞く機会があまりないので、とても貴重な体験になりました！」

「将来、自分が島根に残るか、都会に出るのかを決める良い判断材料になりました！」と話しており、とても充実した時間になったようでした。



東高カフェは、テーマを変えながら今後も継続的に実施する予定です。



2

MATSUE探究成果発表会

松江東高校では、「地域連携で深い学びを追究する普通高校」として、地域の企業・団体、大学、行政等の協力も取り入れた特色ある地域探究「MATSUE探究」を進めております。その成果発表会を12月に、くにびきメッセを会場に実施しました。今年度は「ポスターセッション」「キラボシ★プロジェクト発表」「1・2年合同ワークショップ」の3つのプログラムを行いました。

「ポスターセッション」では、1年次の「MATSUE探究」をきっかけに、松江市内の企業・団体等と協働しながら学びを深めてきた2年生が、1年生や校外からの参加者に向けて成果発表を行いました。「キラボシ★プロジェクト発表」では、外部連携との成果により活発になっている「キラボシ★プロジェクト（主催：MATSUE起業エコシステム）」に挑戦している生徒が実施したプロジェクトの発表を行い、聴衆となった生徒は、事業資金を活用した地域共創のあり方を学びました。「1・2年合同ワークショップ」では、総合的な探究の時間を進めていく上で、大事なポイントとなる「探究テーマ（課題）」を、1年生の「興味関心」や「松江に対する思いや考え」を2年生が引き出しながら、設定していくワークを行いました。

1・2年や校外の方が一堂に会して、松江の魅力や課題を考えることができ、地域を共に創るハートを持った人（地域共創人）へと成長する大きな歩みとなった1日でした。

ポスターセッション



キラボシ★プロジェクト発表



1・2年合同ワークショップ





新会長挨拶

東雲会会長

古藤 啓一(5期)

みなさん、こんにちは！

令和4年6月に開催された東雲会総会で会長として承認いただきました、5期生の古藤です。よろしくお願いします。

前任の物部会長は、会員相互の連携の強化、関西支部創設などの目標を掲げられ、私も副会長として一緒に活動してきました。残念ながら、この3年間はコロナ禍から思うような活動ができない状況が続いていますが、このような状況だからこそ、人と人のつながりが重要であると感じています。

【総会報告】

令和4年6月18日

3年振りに総会を開催しました。

役員を中心に少人数での開催でしたが、対面での会議はうれしさもありました。

【総会・懇親会案内】

開催日時：令和5年6月17日（土）

場 所：松江市 サンラポーむらくも

参加希望者はQRコードから申し込みをお願いします。



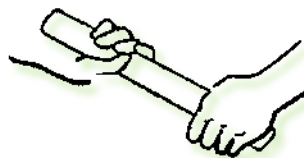
※会費6,000円をいただきます。

定員100名までとなります。定員を超えた場合は、抽選となる可能性があります。

感染対策をして開催予定です。ご参加ください。

松江東高等学校は、来年創立40周年を迎えます。このような節目の年に会長という重責を担わせていただくこととなり、大変なプレッシャーも感じています。

東雲会会員同士、会員と在校生、会員と教員など様々なつながりを活かして、東雲会の発展に向け努力していきたいと考えていますので、ともに東雲会を盛り上げていきましょう。



古藤会長！

後は頼みます。

東雲会前会長 物部 伸吾（2期）

新役員ごあいさつ

● 副会長 平塚久美子（10期）

東高で過ごしていた頃のあの甘酸っぱいキモチを思い出しながら、微力ではありますが頑張ります！

● 副会長 鶴鶴侑（22期）

大役を拝命致しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

● 副会長 植田（小林）恵子（12期）

またこうして東高の皆さんとご一緒できて嬉しいです。よろしくお願いします。

● 監事 池淵晶子（5期）

魅力たっぷりの今の松江東高と同窓会の益々の発展に微力ながらお役に立てるよう努めてまいります。

● 監事 狩野勝（6期）

みんなで東高の魅力を発信していきましょう！

問い合わせ先

東雲会事務局：

足立悠造（24期） ☎ 0852-27-3700（本校）

メールアドレス：

✉ shinonomekaizimukyoku@gmail.com

学校HP：🌐 <https://www.matsuehigashi.ed.jp/>

※住所変更があった際は事務局までお知らせ下さい

LINE公式アカウント



ID検索@831pycep